

今年はおオンラインで開催しました / 渋谷おとなりサンデー2020

会わなくても、つながりが見える、つながることができる渋谷へ

地域の顔見知りを作るきっかけや、人と人とのつながりを考える機会を作るため、渋谷のラジオやZoom(ズーム)※などを活用した「渋谷おとなりサンデー2020」を6月7日に開催しました。

※パソコンやスマートフォンなどでミーティングを開催できるアプリ



Zoomで開催

『テーマ別交流』

渋谷のラジオ特別番組のゲストも交え、参加した皆さんと「おうち時間の過ごし方」や「子育て」をテーマに気軽に話しました。

オンラインの方が話しやすいかも!

移動時間を気にせずいろんな企画に参加できる。



『地域別交流』

ご近所さんと交流できる企画。初めて参加した人と、これまで渋谷おとなりサンデーで地域交流の場を開いていた人同士が顔見知りになる機会となりました。

今度はGoogleのストリートビューで、区内の地域をバーチャル探検しながら話せたら楽しそう。

渋谷のラジオで開催



特別番組『今日は渋谷おとなりサンデーの日!』

長谷部区長のあいさつに始まり、スペシャルトークではゲストに太田雄貴さん(国際フェンシング連盟副会長、公益社団法人日本フェンシング協会会長)と、大日方邦子さん(日本パラリンピアンズ協会会長、日本障害者スキー連盟常任理事)が登場。他の企画では、渋谷区以外にも広がった渋谷おとなりサンデーの紹介や、障がい者福祉、子育てをテーマに、最近の過ごし方や地域交流の大切さなどについて話しました。

『みんなの渋谷おとなりサンデーの様子』 6月の1か月間を、誰でも好きなタイミングで気軽に開催できる「地域交流の強化月間」としました。

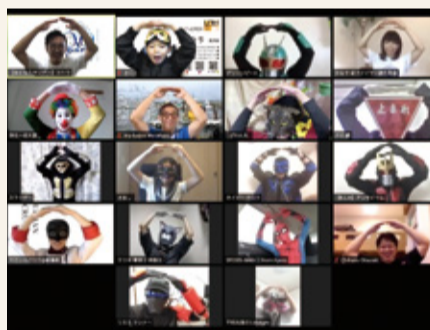


親子でプログラミングオンライン体験 ビスケット*であそぼう!!

6.7 開催

渋谷区こどもテーブル「みらい区」では、親子向けのオンライン・プログラミング体験会「ビスケットであそぼう!!」を開催。初めてのお子さんも楽しみながらゲーム作りに挑戦しました。

※絵でプログラムを作れるビジュアルプログラミング言語



全国ヒーロー会議

バーチャル町会で つながる活動の“わ”

6.14 開催

ファイヤー通りのゴミ拾いボランティアを中心に、全国のヒーローがオンラインで集まり、活動を通じた地域とのつながりやゴミのポイ捨てを減らすアイデアなどを話し合いました。

問 地域振興課町会担当主査 (☎3463-1649 ㊟5458-4906)

これからの季節、猛暑や豪雨はもちろん、地震などについても備えが必要です。区としても、コロナ対策と併せてできる限りの対応準備をしています。皆さまもご自身で愛顧ください。

こんにちは、長谷部健です。
この度、九州地方をはじめとする全国各地で発生した豪雨災害により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復旧を、お祈り申し上げます。
暑い夏が目前ですが、コロナ禍の今年は、暑さを乗り切るだけでなく、ウイルスコロナ、アフターコロナを見据えた新しい生活様式の実践が求められています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止にあたっては、一人一人が感染を防ぐ努力をしていかなければなりません。自分だけが大丈夫ならそれでいいということではなく、社会のことを常に意識し、行動をしていく必要があると考えています。改めて、区民の皆さまのご協力に感謝するとともに、引き続きのご協力をお願い申し上げます。
渋谷区民における感染状況ですが、6月末に陽性者数は200名を超えました。区内の陽性者数のピークは4月中旬頃でしたが、その後5月に入ってから減少し、週に1、2名程度にまで落ち着きました。6月になると再び増加傾向に入り、7月に入ってからはそのペースが加速しています。ただ、4月のピーク時と異なり、以前は検査対象にならなかつた方々の検査が増えたり、無症状の陽性者も増えています。保健所へのお問い合わせもピーク時の半分以下となっているほか、病床にもまだゆとりがあります。決して楽観していいわけではありませんが、4月とは状況が異なることを冷静に見極める必要があると感じています。また、渋谷区でも陽性者の大半は20代30代で、いわゆる夜の街における感染が目立つことも事実です。現在、積極的なPCR検査を実施していることで、陽性者がさらに増えていく可能性がありますが、今後は、高齢者層への感染拡大防止を強化していかなければなりません。
気持ちの上では、ワクチンや特效薬の早期開発に期待したいところですが、今後、1年間あるいはそれ以上の期間にわたってコロナ禍が続く可能性を考えると、ウイルスコロナ時代とも称される日々を過ごしていく心構えが必要です。渋谷区におきましても、福祉や教育をはじめ、さまざまな活動を再開しています。新しい生活様式や3密への配慮など、ビフォーコロナと同じようにはいかないかもしれませんが、人と人との接触機会を減らしたり、さまざまな不便を解消していくと、インターネットを活用した生活が改めて重要になっていきます。そのためにも世代を問わず多くの渋谷区民の皆さまが、どのようにすれば快適にインターネットとつながっているのか、改めて考えています。

「新しい日常」の定着にご協力ください。



渋谷区 区长 長谷部 健